

正 誤 表

記載内容を次のとおり訂正します。

対象	特記仕様書 23頁																																																																																															
		誤	正																																																																																													
	<p>22-7-2 施工 共通仕様書17-5-3に下記を追加する。</p> <p>(1) あと施工アンカーの施工は、「構造物施工管理要領」Ⅲ-6-2の規定に従って行うものとする。</p> <p>(2) アンカー孔の削孔に当たっては、鉄筋探査等を行い既設構造物の鉄筋を損傷しないように十分注意しなければならない。鉄筋探査の結果、あるいはアンカー削孔中において、既設鉄筋が支障になることが判明した場合は、監督員に報告するものとする。なお、鉄筋探査に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>(3) アンカー工で発生するコンクリート塊については本特記仕様書15によるものとする。</p> <p>22-7-3 支払 共通仕様書17-5-6を下記のとおり追加及び変更する。</p> <p>アンカー工の契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う削孔、樹脂接着、既設鉄筋探査、コンクリート塊の運搬処分等の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">単価表の項目</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">17-(9)</td> <td>縁端幅工B</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋A</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋T</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工A</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工B</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工C</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工D</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工E</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> </tbody> </table> <p>22-8 炭素繊維巻立て工 22-8-1 種別 炭素繊維巻立て工の単価表の項目に示す種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">単価表の項目</th> <th style="width: 80%;">区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>目付量（1m²当たりの炭素繊維）が200gの炭素繊維シートを用いるもの</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>目付量（1m²当たりの炭素繊維）が300gの炭素繊維シートを用いるもの</td> </tr> <tr style="border: 2px solid orange;"> <td style="text-align: center;">C</td> <td>目付量（1m²当たりの炭素繊維）が600gの炭素繊維シートを用いるもの</td> </tr> </tbody> </table> <p>22-8-2 支払 共通仕様書17-8-10（5）に下記を追加する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">単価表の項目</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">17-(26)</td> <td>炭素繊維巻立て工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td style="text-align: center;">m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td style="text-align: center;">m²</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">23</p>		単価表の項目	検測の単位	17-(9)	縁端幅工B			鉄筋A	t		鉄筋T	t		アンカー工A	本		アンカー工B	本		アンカー工C	本		アンカー工D	本		アンカー工E	本	単価表の項目	区分内容	A	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が200gの炭素繊維シートを用いるもの	B	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が300gの炭素繊維シートを用いるもの	C	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が600gの炭素繊維シートを用いるもの		単価表の項目	検測の単位	17-(26)	炭素繊維巻立て工			A	m ²		B	m ²	<p>22-7-2 施工 共通仕様書17-5-3に下記を追加する。</p> <p>(1) あと施工アンカーの施工は、「構造物施工管理要領」Ⅲ-6-2の規定に従って行うものとする。</p> <p>(2) アンカー孔の削孔に当たっては、鉄筋探査等を行い既設構造物の鉄筋を損傷しないように十分注意しなければならない。鉄筋探査の結果、あるいはアンカー削孔中において、既設鉄筋が支障になることが判明した場合は、監督員に報告するものとする。なお、鉄筋探査に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>(3) アンカー工で発生するコンクリート塊については本特記仕様書15によるものとする。</p> <p>22-7-3 支払 共通仕様書17-5-6を下記のとおり追加及び変更する。</p> <p>アンカー工の契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う削孔、樹脂接着、既設鉄筋探査、コンクリート塊の運搬処分等の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">単価表の項目</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">17-(9)</td> <td>縁端幅工B</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋A</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋T</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工A</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工B</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工C</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工D</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アンカー工E</td> <td style="text-align: center;">本</td> </tr> </tbody> </table> <p>22-8 炭素繊維巻立て工 22-8-1 種別 炭素繊維巻立て工の単価表の項目に示す種別は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">単価表の項目</th> <th style="width: 80%;">区分内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>目付量（1m²当たりの炭素繊維）が200gの炭素繊維シートを用いるもの</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>目付量（1m²当たりの炭素繊維）が300gの炭素繊維シートを用いるもの</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td style="text-align: center;">C</td> <td>目付量（1m²当たりの炭素繊維）が600gの炭素繊維シートを用いるもの（炭素繊維定着体の設置を含む）</td> </tr> </tbody> </table> <p>22-8-2 支払 共通仕様書17-8-10（5）に下記を追加する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%; text-align: center;">単価表の項目</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">17-(26)</td> <td>炭素繊維巻立て工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td style="text-align: center;">m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B</td> <td style="text-align: center;">m²</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">23</p>		単価表の項目	検測の単位	17-(9)	縁端幅工B			鉄筋A	t		鉄筋T	t		アンカー工A	本		アンカー工B	本		アンカー工C	本		アンカー工D	本		アンカー工E	本	単価表の項目	区分内容	A	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が200gの炭素繊維シートを用いるもの	B	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が300gの炭素繊維シートを用いるもの	C	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が600gの炭素繊維シートを用いるもの（炭素繊維定着体の設置を含む）		単価表の項目	検測の単位	17-(26)	炭素繊維巻立て工			A	m ²		B	m ²
	単価表の項目	検測の単位																																																																																														
17-(9)	縁端幅工B																																																																																															
	鉄筋A	t																																																																																														
	鉄筋T	t																																																																																														
	アンカー工A	本																																																																																														
	アンカー工B	本																																																																																														
	アンカー工C	本																																																																																														
	アンカー工D	本																																																																																														
	アンカー工E	本																																																																																														
単価表の項目	区分内容																																																																																															
A	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が200gの炭素繊維シートを用いるもの																																																																																															
B	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が300gの炭素繊維シートを用いるもの																																																																																															
C	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が600gの炭素繊維シートを用いるもの																																																																																															
	単価表の項目	検測の単位																																																																																														
17-(26)	炭素繊維巻立て工																																																																																															
	A	m ²																																																																																														
	B	m ²																																																																																														
	単価表の項目	検測の単位																																																																																														
17-(9)	縁端幅工B																																																																																															
	鉄筋A	t																																																																																														
	鉄筋T	t																																																																																														
	アンカー工A	本																																																																																														
	アンカー工B	本																																																																																														
	アンカー工C	本																																																																																														
	アンカー工D	本																																																																																														
	アンカー工E	本																																																																																														
単価表の項目	区分内容																																																																																															
A	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が200gの炭素繊維シートを用いるもの																																																																																															
B	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が300gの炭素繊維シートを用いるもの																																																																																															
C	目付量（1m ² 当たりの炭素繊維）が600gの炭素繊維シートを用いるもの（炭素繊維定着体の設置を含む）																																																																																															
	単価表の項目	検測の単位																																																																																														
17-(26)	炭素繊維巻立て工																																																																																															
	A	m ²																																																																																														
	B	m ²																																																																																														

正 誤 表

記載内容を次のとおり訂正します。

対象	特記仕様書 24頁	誤	正																																
		C m2	C m2																																
		22-9 表面保護工 22-9-1 材料 表面保護工に使用する上塗の塗装色は次のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>上塗の塗装色</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート表面被覆工</td> <td>KN-75 (淡彩)</td> <td>2019年K版塗装標準色</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	上塗の塗装色	備考	コンクリート表面被覆工	KN-75 (淡彩)	2019年K版塗装標準色	22-9 表面保護工 22-9-1 材料 表面保護工に使用する上塗の塗装色は次のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>上塗の塗装色</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート表面被覆工</td> <td>KN-75 (淡彩)</td> <td>2019年K版塗装標準色</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	上塗の塗装色	備考	コンクリート表面被覆工	KN-75 (淡彩)	2019年K版塗装標準色																				
単価表の項目	上塗の塗装色	備考																																	
コンクリート表面被覆工	KN-75 (淡彩)	2019年K版塗装標準色																																	
単価表の項目	上塗の塗装色	備考																																	
コンクリート表面被覆工	KN-75 (淡彩)	2019年K版塗装標準色																																	
		22-10 交通規制工 22-10-1 種別 共通仕様書19-3-2に規定する交通規制箇所、交通規制内の施工内容及び規制時間等については下表のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>交通規制箇所</th> <th>交通規制内の工事内容</th> <th>規制時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路肩規制 I×1</td> <td>関越自動車道 水上IC～湯沢IC (土樽PA-Aランプ橋)</td> <td>縁端拡幅 落橋防止システム 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 足場工</td> <td>09:00～17:00 (07:00～19:00)</td> </tr> <tr> <td>車線規制 (走行) I×1</td> <td>関越自動車道 水上IC～湯沢IC (中子高架橋 上下線)</td> <td>縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工</td> <td>09:00～17:00 (07:00～19:00)</td> </tr> <tr> <td>車線規制 (追越) I×1</td> <td>関越自動車道 水上IC～湯沢IC (万太郎橋)</td> <td>縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工</td> <td>09:00～17:00 (07:00～19:00)</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間	路肩規制 I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (土樽PA-Aランプ橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 足場工	09:00～17:00 (07:00～19:00)	車線規制 (走行) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (中子高架橋 上下線)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	09:00～17:00 (07:00～19:00)	車線規制 (追越) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (万太郎橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	09:00～17:00 (07:00～19:00)	22-10 交通規制工 22-10-1 種別 共通仕様書19-3-2に規定する交通規制箇所、交通規制内の施工内容及び規制時間等については下表のとおりとする。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>交通規制箇所</th> <th>交通規制内の工事内容</th> <th>規制時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路肩規制 I×1</td> <td>関越自動車道 水上IC～湯沢IC (土樽PA-Aランプ橋)</td> <td>縁端拡幅 落橋防止システム 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 足場工</td> <td>07:00～19:00</td> </tr> <tr> <td>車線規制 (走行) I×1</td> <td>関越自動車道 水上IC～湯沢IC (中子高架橋 上下線)</td> <td>縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工</td> <td>07:00～19:00</td> </tr> <tr> <td>車線規制 (追越) I×1</td> <td>関越自動車道 水上IC～湯沢IC (万太郎橋)</td> <td>縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工</td> <td>07:00～19:00</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間	路肩規制 I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (土樽PA-Aランプ橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 足場工	07:00～19:00	車線規制 (走行) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (中子高架橋 上下線)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	07:00～19:00	車線規制 (追越) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (万太郎橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	07:00～19:00
単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間																																
路肩規制 I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (土樽PA-Aランプ橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 足場工	09:00～17:00 (07:00～19:00)																																
車線規制 (走行) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (中子高架橋 上下線)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	09:00～17:00 (07:00～19:00)																																
車線規制 (追越) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (万太郎橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	09:00～17:00 (07:00～19:00)																																
単価表の項目	交通規制箇所	交通規制内の工事内容	規制時間																																
路肩規制 I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (土樽PA-Aランプ橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 足場工	07:00～19:00																																
車線規制 (走行) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (中子高架橋 上下線)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	07:00～19:00																																
車線規制 (追越) I×1	関越自動車道 水上IC～湯沢IC (万太郎橋)	縁端拡幅 落橋防止システム 落橋防止構造 水平力分担構造 横変位拘束構造 鋼製ストッパー アンカー工 橋脚補強A 足場工	07:00～19:00																																
		上表の規制時間とは、1回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置開始（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。 ()内の時間は、交通規制内の施工可能時間（休憩時間を含む）を示す。 交通規制工における保守を行う交通監視員の休憩時間等の交替要員については、交通規制工を含むものとする。	上表の規制時間とは、1回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置開始（標識設置開始）から規制撤去完了（標識撤去完了）までの時間である。 交通規制工における保守を行う交通監視員の休憩時間等の交替要員については、交通規制工を含むものとする。																																
		24	24																																

正誤表

記載内容を次のとおり訂正します。

対象	設計図 (5/6) 図面番号 7/78																																																								
誤	<div style="text-align: center;"> <p>土樽PA-Aランプ橋 P3橋脚 補強構造図 S=1:250</p> <p>7 / 78</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>正面図</p> <p>側面図</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>炭素繊維シート施工断面図</p> <p>炭素繊維シート工数量表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地処理</td> <td>m²</td> <td>167.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td>m²</td> <td>170.3</td> <td>層数計付 200g/m²</td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td>m²</td> <td>167.0</td> <td>層数計付 400g/m²</td> </tr> <tr> <td>接着剤</td> <td>m²</td> <td>167.0</td> <td>1層</td> </tr> <tr> <td>プライマー</td> <td>m²</td> <td>66.8</td> <td>材料計付 0.2kg/m²</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂</td> <td>m²</td> <td>250.5</td> <td>材料計付 1.5kg/m²</td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td>m²</td> <td>302.6</td> <td>材料計付 0.5kg/m²</td> </tr> <tr> <td>CFアンカー</td> <td>個</td> <td>44</td> <td>材料計付 0.3kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※12層計 200g/m² ※21層計 400g/m²</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>炭素繊維シート性能表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>繊維径寸 (φmm)</th> <th>引張強度 (N/mm²)</th> <th>引張伸び率 (%)</th> <th>設計伸び率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.00</td> <td>3,400</td> <td>2.45×10⁻²</td> <td>0.333</td> </tr> <tr> <td>3.00</td> <td>3,400</td> <td>2.45×10⁻²</td> <td>0.111</td> </tr> </tbody> </table> <p>CFアンカー仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>炭素繊維ストランド</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>層数</th> <th>間隔 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24x</td> <td>80以上</td> <td>300</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 本図中のCFアンカーは、設計図書に準じて施工すること。 ※2 CFアンカーは、設計図書に準じて施工すること。 ※3 繊維径寸は、設計図書に準じて施工すること。</p> <p>CFアンカー詳細図</p> <p>S=1:25 S=1:12.5</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>平面図</p> <p>炭素繊維シート 材料計付 0.2kg/m² 層数計付 1層 材料計付 1.5kg/m² 層数計付 1層</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>開成自 野 申 達 中 子 兵 衛 研 究 所 設 計 課</p> <p>図面の種類 土樽PA-Aランプ橋 P3橋脚 補強構造図</p> <p>縮 尺 図 示 図 示 縮 尺 1 / 78</p> <p>設計会社名 大日本コンサルタント株式会社</p> <p>施工会社名</p> <p>発注者名 東日本高速道路株式会社 新潟管理区 建設部 橋梁課</p> </div>	項目	単位	数量	備考	下地処理	m ²	167.0		炭素繊維シート	m ²	170.3	層数計付 200g/m ²	炭素繊維シート	m ²	167.0	層数計付 400g/m ²	接着剤	m ²	167.0	1層	プライマー	m ²	66.8	材料計付 0.2kg/m ²	エポキシ樹脂	m ²	250.5	材料計付 1.5kg/m ²	炭素繊維シート	m ²	302.6	材料計付 0.5kg/m ²	CFアンカー	個	44	材料計付 0.3kg	繊維径寸 (φmm)	引張強度 (N/mm ²)	引張伸び率 (%)	設計伸び率 (%)	3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.333	3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.111	炭素繊維ストランド	寸法 (mm)	層数	間隔 (mm)	24x	80以上	300	250
項目	単位	数量	備考																																																						
下地処理	m ²	167.0																																																							
炭素繊維シート	m ²	170.3	層数計付 200g/m ²																																																						
炭素繊維シート	m ²	167.0	層数計付 400g/m ²																																																						
接着剤	m ²	167.0	1層																																																						
プライマー	m ²	66.8	材料計付 0.2kg/m ²																																																						
エポキシ樹脂	m ²	250.5	材料計付 1.5kg/m ²																																																						
炭素繊維シート	m ²	302.6	材料計付 0.5kg/m ²																																																						
CFアンカー	個	44	材料計付 0.3kg																																																						
繊維径寸 (φmm)	引張強度 (N/mm ²)	引張伸び率 (%)	設計伸び率 (%)																																																						
3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.333																																																						
3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.111																																																						
炭素繊維ストランド	寸法 (mm)	層数	間隔 (mm)																																																						
24x	80以上	300	250																																																						
正	<div style="text-align: center;"> <p>土樽PA-Aランプ橋 P3橋脚 補強構造図 S=1:250</p> <p>7 / 78</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>正面図</p> <p>側面図</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>炭素繊維シート施工断面図</p> <p>炭素繊維シート工数量表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地処理</td> <td>m²</td> <td>167.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td>m²</td> <td>170.3</td> <td>層数計付 200g/m²</td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td>m²</td> <td>167.0</td> <td>層数計付 400g/m²</td> </tr> <tr> <td>接着剤</td> <td>m²</td> <td>167.0</td> <td>1層</td> </tr> <tr> <td>プライマー</td> <td>m²</td> <td>66.8</td> <td>材料計付 0.2kg/m²</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂</td> <td>m²</td> <td>250.5</td> <td>材料計付 1.5kg/m²</td> </tr> <tr> <td>炭素繊維シート</td> <td>m²</td> <td>302.6</td> <td>材料計付 0.5kg/m²</td> </tr> <tr> <td>炭素繊維定着体</td> <td>個</td> <td>44</td> <td>材料計付 0.3kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※12層計 200g/m² ※21層計 400g/m²</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>炭素繊維シート性能表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>繊維径寸 (φmm)</th> <th>引張強度 (N/mm²)</th> <th>引張伸び率 (%)</th> <th>設計伸び率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.00</td> <td>3,400</td> <td>2.45×10⁻²</td> <td>0.333</td> </tr> <tr> <td>3.00</td> <td>3,400</td> <td>2.45×10⁻²</td> <td>0.111</td> </tr> </tbody> </table> <p>炭素繊維定着体仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>炭素繊維ストランド</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>層数</th> <th>間隔 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24x</td> <td>80以上</td> <td>300</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 炭素繊維シートの層数計付は200g/m²とする。 ※2 本図面のマシは設計図書に準じて施工すること。 ※3 本図面のマシは設計図書に準じて施工すること。 ※4 本図面のマシは設計図書に準じて施工すること。 ※5 本図面のマシは設計図書に準じて施工すること。</p> <p>炭素繊維定着体詳細図</p> <p>S=1:25 S=1:12.5</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>平面図</p> <p>炭素繊維シート 材料計付 0.2kg/m² 層数計付 1層 材料計付 1.5kg/m² 層数計付 1層</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>開成自 野 申 達 中 子 兵 衛 研 究 所 設 計 課</p> <p>図面の種類 土樽PA-Aランプ橋 P3橋脚 補強構造図</p> <p>縮 尺 図 示 図 示 縮 尺 1 / 78</p> <p>設計会社名 大日本コンサルタント株式会社</p> <p>施工会社名</p> <p>発注者名 東日本高速道路株式会社 新潟管理区 建設部 橋梁課</p> </div>	項目	単位	数量	備考	下地処理	m ²	167.0		炭素繊維シート	m ²	170.3	層数計付 200g/m ²	炭素繊維シート	m ²	167.0	層数計付 400g/m ²	接着剤	m ²	167.0	1層	プライマー	m ²	66.8	材料計付 0.2kg/m ²	エポキシ樹脂	m ²	250.5	材料計付 1.5kg/m ²	炭素繊維シート	m ²	302.6	材料計付 0.5kg/m ²	炭素繊維定着体	個	44	材料計付 0.3kg	繊維径寸 (φmm)	引張強度 (N/mm ²)	引張伸び率 (%)	設計伸び率 (%)	3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.333	3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.111	炭素繊維ストランド	寸法 (mm)	層数	間隔 (mm)	24x	80以上	300	250
項目	単位	数量	備考																																																						
下地処理	m ²	167.0																																																							
炭素繊維シート	m ²	170.3	層数計付 200g/m ²																																																						
炭素繊維シート	m ²	167.0	層数計付 400g/m ²																																																						
接着剤	m ²	167.0	1層																																																						
プライマー	m ²	66.8	材料計付 0.2kg/m ²																																																						
エポキシ樹脂	m ²	250.5	材料計付 1.5kg/m ²																																																						
炭素繊維シート	m ²	302.6	材料計付 0.5kg/m ²																																																						
炭素繊維定着体	個	44	材料計付 0.3kg																																																						
繊維径寸 (φmm)	引張強度 (N/mm ²)	引張伸び率 (%)	設計伸び率 (%)																																																						
3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.333																																																						
3.00	3,400	2.45×10 ⁻²	0.111																																																						
炭素繊維ストランド	寸法 (mm)	層数	間隔 (mm)																																																						
24x	80以上	300	250																																																						

正誤表

記載内容を次のとおり訂正します。

対象	設計図 (5 / 6) 図面番号 67 / 78																																				
誤	<div style="text-align: center;"> <p>土樽PA-Aランプ橋 P3橋脚 土留め工詳細図(その2) 補強工事仮設土工図</p> <p>平面計画図 S=1:250 土工横断面図 S=1:500</p> <p style="text-align: right;">67 / 78</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>数量表 (P3橋脚)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構造物掘削 特殊部</td> <td>m3</td> <td>1,435.6</td> <td>土留め内337.6m³、土留め外1,098.0m³</td> </tr> <tr> <td>埋戻し</td> <td>m3</td> <td>1,435.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植生マット工A</td> <td>m2</td> <td>120.9</td> <td>(上段75.8+下段24.6)×1,202.法面形状あり</td> </tr> <tr> <td>切込砕石路盤 (t=10cm)</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>橋脚復旧部</td> </tr> <tr> <td>粒度調整路盤 (t=10cm)</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>777材表層 (t=5cm)</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>777材調整路盤取除し</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>調整カッター t=5cm L=20.3m</td> </tr> <tr> <td>植生復旧工</td> <td>m</td> <td>31.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	数量	備考	構造物掘削 特殊部	m3	1,435.6	土留め内337.6m ³ 、土留め外1,098.0m ³	埋戻し	m3	1,435.6		植生マット工A	m2	120.9	(上段75.8+下段24.6)×1,202.法面形状あり	切込砕石路盤 (t=10cm)	m2	26.7	橋脚復旧部	粒度調整路盤 (t=10cm)	m2	26.7	"	777材表層 (t=5cm)	m2	26.7	"	777材調整路盤取除し	m2	26.7	調整カッター t=5cm L=20.3m	植生復旧工	m	31.0	
項目	単位	数量	備考																																		
構造物掘削 特殊部	m3	1,435.6	土留め内337.6m ³ 、土留め外1,098.0m ³																																		
埋戻し	m3	1,435.6																																			
植生マット工A	m2	120.9	(上段75.8+下段24.6)×1,202.法面形状あり																																		
切込砕石路盤 (t=10cm)	m2	26.7	橋脚復旧部																																		
粒度調整路盤 (t=10cm)	m2	26.7	"																																		
777材表層 (t=5cm)	m2	26.7	"																																		
777材調整路盤取除し	m2	26.7	調整カッター t=5cm L=20.3m																																		
植生復旧工	m	31.0																																			
正	<div style="text-align: center;"> <p>土樽PA-Aランプ橋 P3橋脚 土留め工詳細図(その2) 補強工事仮設土工図</p> <p>平面計画図 S=1:250 土工横断面図 S=1:500</p> <p style="text-align: right;">67 / 78</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>数量表 (P3橋脚)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構造物掘削 特殊部</td> <td>m3</td> <td>1,435.6</td> <td>土留め内337.6m³、土留め外1,098.0m³</td> </tr> <tr> <td>埋戻し</td> <td>m3</td> <td>1,435.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植生マット工A</td> <td>m2</td> <td>120.9</td> <td>(上段75.8+下段24.6)×1,202.法面形状あり</td> </tr> <tr> <td>切込砕石路盤 (t=10cm) (C-40)</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>橋脚復旧部</td> </tr> <tr> <td>粒度調整路盤 (t=10cm) (S-40)</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>777材表層 (t=5cm) (密砕産7/20) (黒色加型合材)</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>777材調整路盤取除し</td> <td>m2</td> <td>26.7</td> <td>調整カッター t=5cm L=20.3m</td> </tr> <tr> <td>植生復旧工</td> <td>m</td> <td>31.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	数量	備考	構造物掘削 特殊部	m3	1,435.6	土留め内337.6m ³ 、土留め外1,098.0m ³	埋戻し	m3	1,435.6		植生マット工A	m2	120.9	(上段75.8+下段24.6)×1,202.法面形状あり	切込砕石路盤 (t=10cm) (C-40)	m2	26.7	橋脚復旧部	粒度調整路盤 (t=10cm) (S-40)	m2	26.7	"	777材表層 (t=5cm) (密砕産7/20) (黒色加型合材)	m2	26.7	"	777材調整路盤取除し	m2	26.7	調整カッター t=5cm L=20.3m	植生復旧工	m	31.0	
項目	単位	数量	備考																																		
構造物掘削 特殊部	m3	1,435.6	土留め内337.6m ³ 、土留め外1,098.0m ³																																		
埋戻し	m3	1,435.6																																			
植生マット工A	m2	120.9	(上段75.8+下段24.6)×1,202.法面形状あり																																		
切込砕石路盤 (t=10cm) (C-40)	m2	26.7	橋脚復旧部																																		
粒度調整路盤 (t=10cm) (S-40)	m2	26.7	"																																		
777材表層 (t=5cm) (密砕産7/20) (黒色加型合材)	m2	26.7	"																																		
777材調整路盤取除し	m2	26.7	調整カッター t=5cm L=20.3m																																		
植生復旧工	m	31.0																																			